

今週の感染症発生動向

- ◆ インフルエンザの流行期に突入(滋賀県)
- ◆ 咽頭結膜熱(プール熱)および水痘、急増
- ◆ 細菌性赤痢は、今年になって5例目

★一類～五類全数報告感染症の発生状況(第50週)

- ・一類感染症---報告はありません
- ・二類感染症---**結核 14名**
- ・三類感染症---**細菌性赤痢 2名**(推定感染地域:インド、推定感染経路:不明)
- ・四類感染症---報告はありません
- ・五類感染症---報告はありません

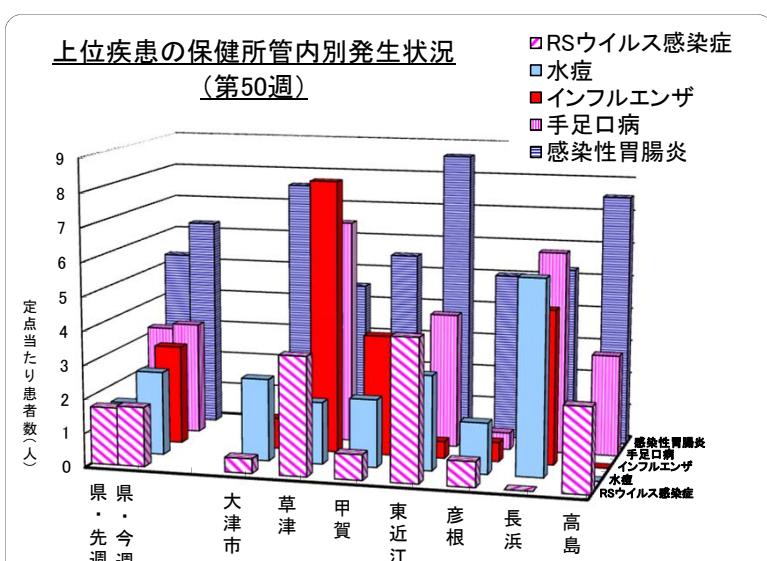
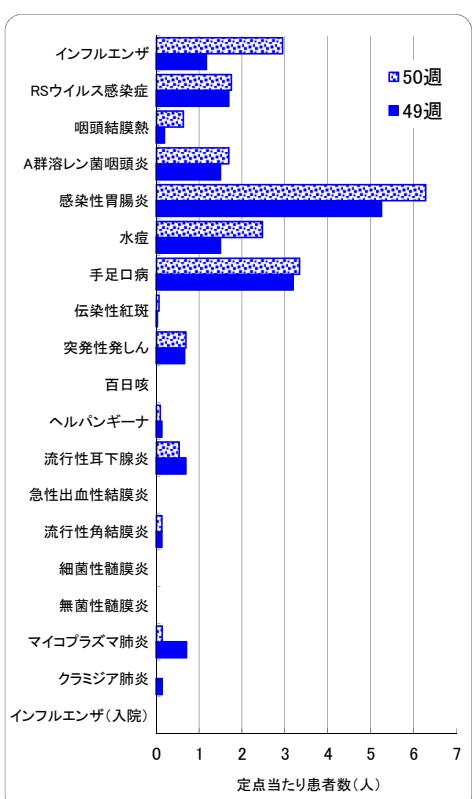
★定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す19疾患の患者報告数は、先週(543名)の約1.3倍増となり、今週は719名となっています。特に、インフルエンザおよび感染性胃腸炎で大幅に増加しています。今週、増加した疾患はインフルエンザ、咽頭結膜熱(プール熱)、感染性胃腸炎、水痘等で、減少した疾患は流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)、マイコプラズマ肺炎等です(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

また、インフルエンザについては、県全体の定点当たり患者数が、先週(第49週)に引き続き流行の目安となる1.00を超えていました。さらに、今週は定点当たり患者数1.00を超えている保健所管内が、先週よりさらに増加したため、滋賀県においてもインフルエンザの流行期に入ったと考えられます。全国では、第49週に流行シーズン入りしています。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、警報および注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は以下のとおりです。

警 報----咽頭結膜熱(プール熱)	(警報開始基準値 3.00、警報終息基準値 1.00)	高島保健所管内
手足口病	(警報開始基準値 5.00、警報終息基準値 2.00)	草津および長浜保健所管内
注意報----水痘	(注意報発生基準値 4.00)	長浜保健所管内



県全体における上位疾患の発生状況は、①感染性胃腸炎、②手足口病、③インフルエンザ、④水痘、⑤RSウイルス感染症の順に多くなっています。

感染性胃腸炎-----草津以外で、先週より増加しています。
 手足口病-----草津および長浜では、先週に引き続き警報終息基準値を超えています。
 インフルエンザ-----草津、甲賀および長浜で、先週より急増しています。
 水痘-----長浜で先週の8倍増となり、注意報発生基準値を超えています。
 RSウイルス感染症-----草津および東近江で、先週より大幅に増加しています。

1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は、保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症等を把握することができます。

感染症類型	疾患名	平成23年 累積報告数		平成22年 累積報告数 ^(*)1)		平成21年 累積報告数 ^(*)2)	
		滋賀 (50週) (49週注)	全国 (^(*)3))	滋賀	全国 (^(*)3))	滋賀	全国 (^(*)3))
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	321	28,903	251	26,704	256	26,996
三類感染症	コレラ	0	10	0	10	1	16
	細菌性赤痢	5	284	2	235	0	181
	腸管出血性大腸菌感染症	71	3,781	66	4,131	27	3,889
	パラチフス	0	21	1	21	0	27
四類感染症	E型肝炎	0	54	0	66	1	56
	A型肝炎	0	174	3	346	0	115
	オウム病	0	13	1	11	0	21
	つつが虫病	1	371	2	406	0	465
	デング熱	1	100	2	245	0	93
	マラリア	0	73	0	76	0	56
	レジオネラ症	12	770	10	751	8	717
五類感染症	アメーバ赤痢	2	768	7	845	10	786
	ウイルス性肝炎	1	231	3	222	3	223
	急性脳炎	1	239	0	241	8	526
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2	125	2	171	2	142
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	185	3	127	2	103
	後天性免疫不全症候群	6	1,382	1	1,549	9	1,446
	ジアルジア症	1	61	1	80	0	70
	梅毒	6	762	9	621	3	691
	破傷風	1	109	0	106	3	113
	パンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	64	2	121	0	116
	風しん	2	362	5	89	2	147
	麻しん	1	429	1	455	7	732
	新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) ^(*)4)	0	0	0	138	12,654
動物の感染症	細菌性赤痢(サル)	9	28	0	59	0	34

注：50週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

* 1: 感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年3月現在)。

* 2: 感染症発生動向調査事業年報(国立感染症研究所感染症情報センター、平成23年4月確定)。

* 3: 全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

* 4: 感染症法の一部改正(平成21年7月24日施行)により届出の対象となった報告数です(届出期間:平成21年7月24日～8月24日)。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。

また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一ヵ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものであります。

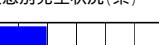
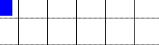
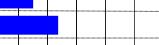
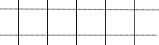
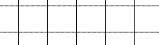
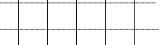
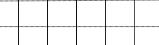
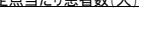
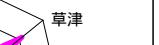
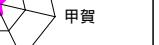
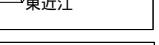
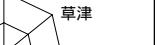
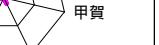
(患者報告数=定点当たり患者数×定点数)

(1) 疾病別・週別発生状況(平成23年第45週～50週、11/7～12/18)

定点区分	定点数	疾患名	定点当たり患者数(↑前週より増加　→前週と同じ　↓前週より減少)										
			45週		46週		47週		48週		49週		
			11/7～	11/14～	11/21～	11/28～	12/5～	12/12～	46	47	48	49	50
インフルエンザ	53	インフルエンザ	0.09	0.15	0.47	0.92	1.17	2.94	↑	↑	↑	↑	↑
小児科	32	RSウイルス感染症	1.22	1.25	1.56	1.66	1.69	1.75	↑	↑	↑	↑	↑
		咽頭結膜熱(ブルー熱)	0.22	0.09	0.09	0.28	0.19	0.63	↓	→	↑	↓	↑
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.03	1.25	1.09	1.38	1.50	1.69	↑	↓	↑	↑	↑
		感染性胃腸炎	3.09	3.22	3.50	4.03	5.25	6.28	↑	↑	↑	↑	↑
		水痘	0.97	1.22	1.50	1.38	1.50	2.47	↑	↑	↓	↑	↑
		手足口病	2.38	2.50	2.53	2.25	3.19	3.34	↑	↑	↓	↑	↑
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0.09	0.09	0.16	0.16	0.03	0.06	→	↑	→	↓	↑
		突発性発しん	0.44	0.66	0.53	0.72	0.66	0.69	↑	↓	↑	↓	↑
		百日咳	0	0.03	0.03	0.03	0	0	↑	→	→	↓	→
		ヘルパンギーナ	0.19	0.13	0.06	0.13	0.13	0.09	↓	↓	↑	→	↓
眼科	8	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.56	0.59	0.38	0.50	0.69	0.53	↑	↓	↑	↑	↓
		急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
		流行性角結膜炎	0.38	0.13	0.13	0.38	0.13	0.13	↓	→	↑	↓	→
基幹	7	細菌性髄膜炎	0	0	0.14	0	0	0	→	↑	↓	→	→
		無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0	↓	→	→	→	→
		マイコプラズマ肺炎	0.71	1.00	1.14	0.71	0.71	0.14	↑	↑	↓	→	↓
		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0.14	0	→	→	→	↑	↓
		インフルエンザ(入院)*	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→

* : 平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数(定点当たり患者数)を掲載

(2) 疾病別・保健所管内別発生状況(第50週、12/12～12/18)

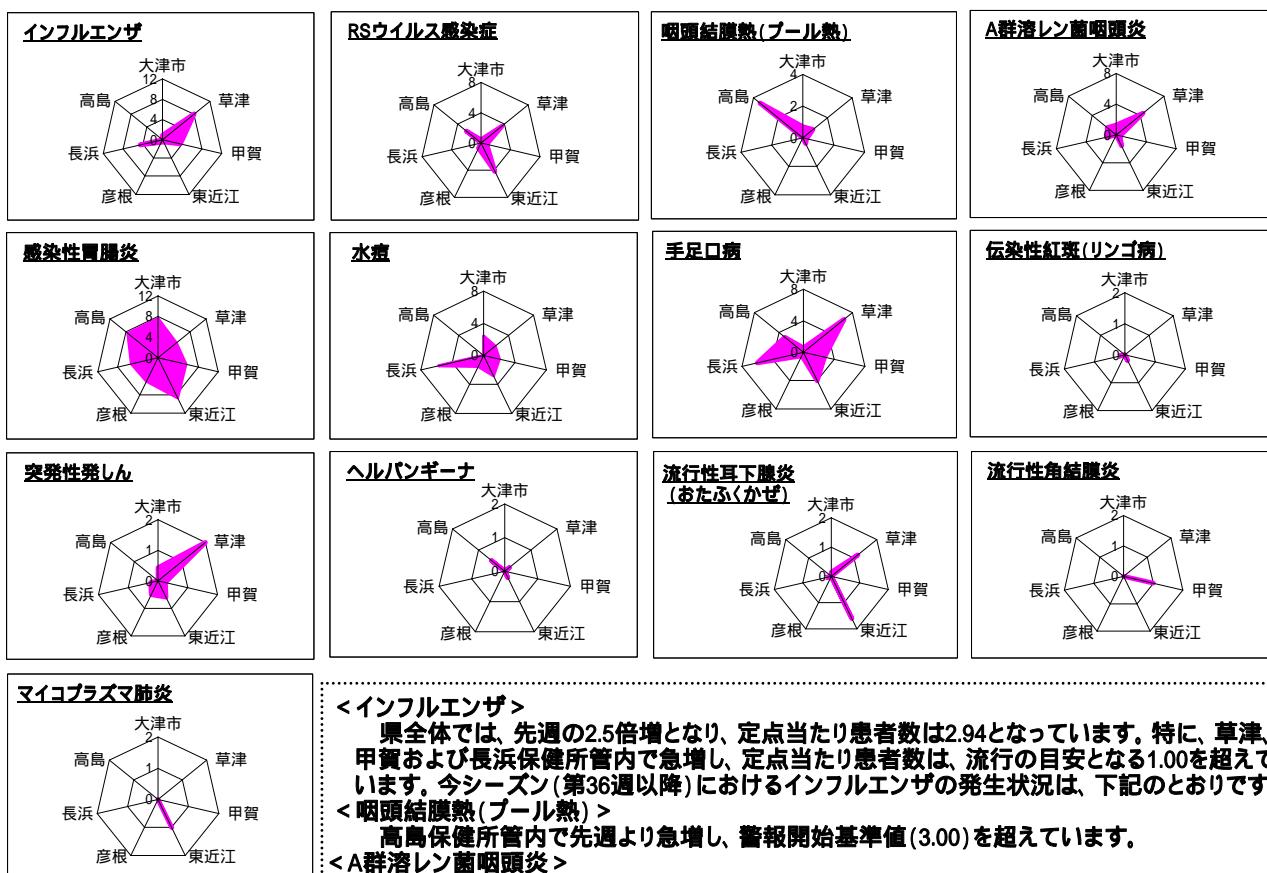
疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)							疾患別発生状況(県)	
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	2.94	0.91	8.10	3.57	0.50	0.57	4.57	0	
RSウイルス感染症	1.75	0.43	3.50	0.75	4.20	0.75	0	2.50	
咽頭結膜熱(ブルー熱)	0.63	0.71	0.83	0.25	0.40	0	0	3.50	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.69	1.29	4.50	0.50	1.60	0	1.25	1.50	
感染性胃腸炎	6.28	7.57	4.50	5.50	8.60	5.00	5.25	7.50	
水痘	2.47	2.43	1.83	2.00	2.80	1.50	5.75	0.00	
手足口病	3.34	0.57	6.67	2.75	4.00	0.50	6.00	3.00	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0	0	0	0.20	0	0.25	0	
突発性発しん	0.69	0.43	2.00	0.25	0.60	0.50	0.25	0	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.09	0	0.17	0	0.20	0	0	0.50	
流行性耳下腺炎(あたふくかぜ)	0.53	0.14	1.17	0	1.60	0.00	0.25	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.13	0	0	1.00	0	0	0	0	
細菌性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	1.00	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	
インフルエンザ(入院)	0	0	0	0	0	0	0	0	

赤・太字 は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えています。

青緑・太字 は注意報発生基準値を超えています。

定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



<インフルエンザ>

県全体では、先週の2.5倍増となり、定点当たり患者数は2.94となっています。特に、草津、甲賀および長浜保健所管内で急増し、定点当たり患者数は、流行の目安となる1.00を超えていました。今シーズン(第36週以降)におけるインフルエンザの発生状況は、下記のとおりです。

<咽頭結膜熱(ブルー熱)>

高島保健所管内で先週より急増し、警報開始基準値(3.00)を超えていました。

<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

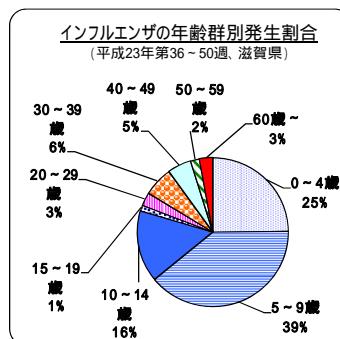
県全体では、先週より減少していますが、草津保健所管内で2倍増、高島保健所管内で3倍増となっています。また、東近江保健所管内では先週より大幅に減少しています。

(3) 今週の発生状況

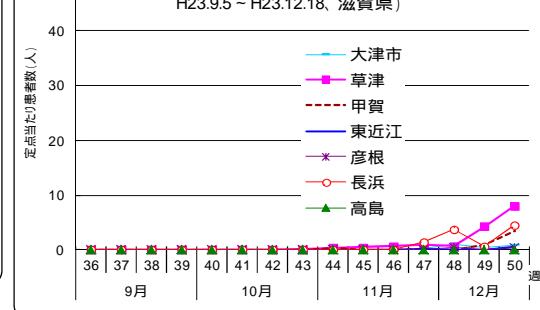
インフルエンザの発生状況
(平成23年第36～50週)

週、
年齢群別発生割合では、0～4歳および5～9歳で多くなっています。
また、60歳以上においても全体の3%を占めています。

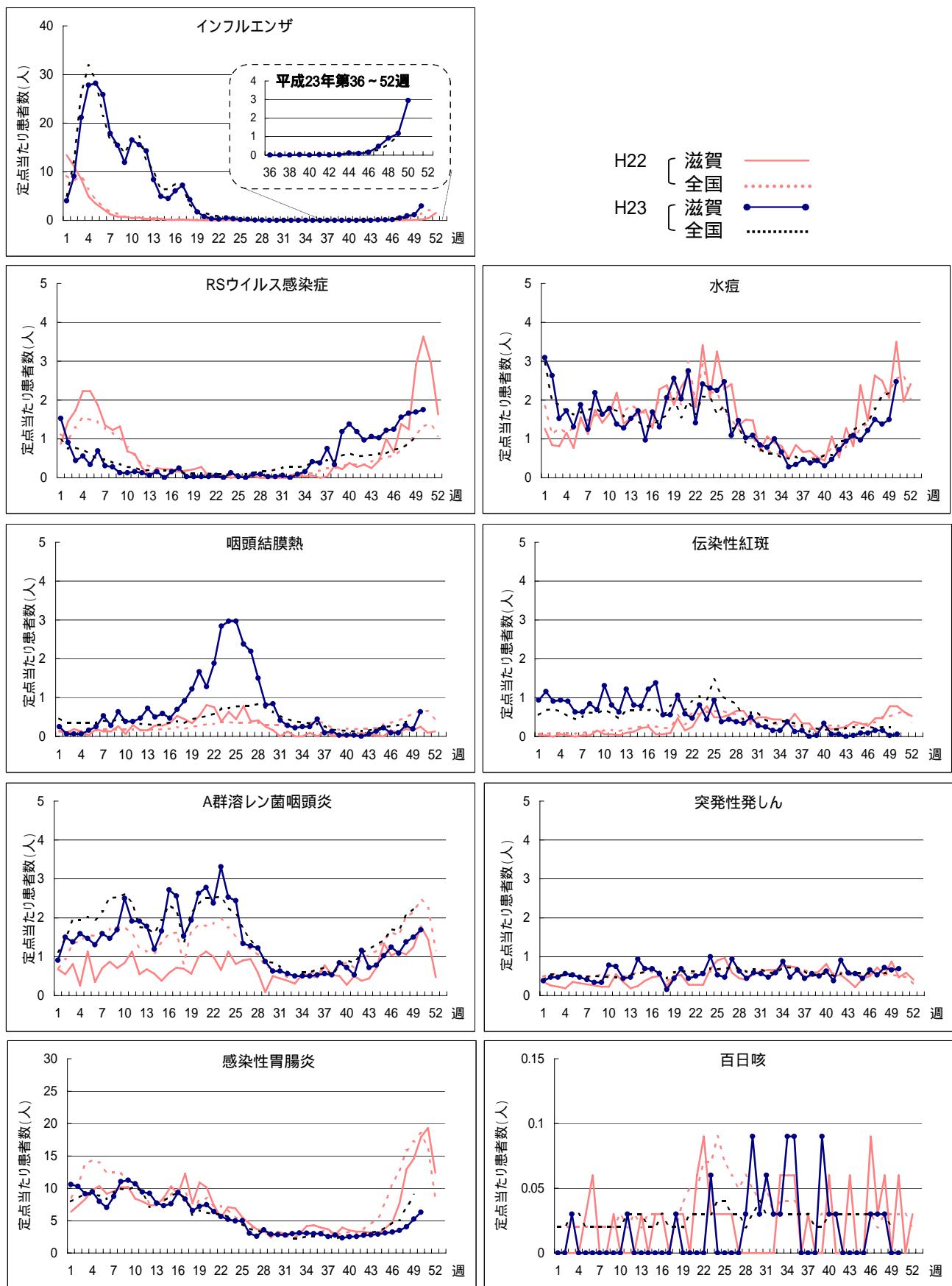
保健所管内別発生状況では、草津で増加傾向を示しています。



インフルエンザの保健所管内別発生状況
(平成23年第36～50週、H23.9.5～H23.12.18、滋賀県)



疾病別定点当たり患者数(平成23年第1～50週、H23.1.3～H23.12.18)



[トップページに戻る](#)

疾病別定点当たり患者数
(平成23年第1～50週、H23.1.3～H23.12.18)

H22 滋賀
全国
H23 滋賀
全国

